



## Rotary Club SAKAI SEIRYO D-2640 Osaka Japan

&amp;

## Rotary Club of Bali Taman D3-3400 Indonesia

JOINT SCHOLARSHIP'S PROGRAM

堺清陵ロータリークラブ提唱のWCSプロジェクトーバリ島の貧困児童に対する奨学金について下記の通り報告致します。

1. 2005年2月14日、D2640の5つのロータリークラブから合計¥558,080の現金寄贈を受け、ルピアに換金 48,000,000ルピアの資金を得た。
2. 例会にて小学校選択の討議を行い、次の4つの小学校が選ばれた：
  - A. Buleleng (北部バリ州、ブレレン県) 国立第4小学校一往復6時間
  - B. Denpasar (州都デンパサル市) 国立第17小学校一往復1時間
  - C. Gianyar (東部ギアニヤール県) 国立第1小学校一往復3時間
  - D. Karangasem (東部カラニアサム県) 国立第1&第2小学校(2校) 往復4時間上記各項当り@12,000,000ルピアとし、一人の生徒さんが1年に最低必要な金額を40万ルピアとし、各校30名の奨学生と決定、バリタマンロータリークラブ会員の中から各学校担当責任者が選出された。
3. 現金を各校へ手渡すだけに終わらず、インドネシアの新学期は7月の為、6月長期休日に入る前、国から教科書が決定されるのを待って、現物支給を行う方が、有効的である。また時間的余裕があるので、その間を利用して 奨学金を受ける児童の選抜を行うことにした。各担当責任者は学校へ出かけて行き校長先生や先生方とこのプロジェクトの趣旨説明を行い、その学校で何が一番求められているのかの聞き取り調査を行った。
4. その結果、学校によりまちまちな回答が出てきたものの、クラブとしては、概ね統一した物品と最低限の現金の支給を行うことが妥当であることを決議した。つまり、教科書、制服、靴は、児童が登校するに最小限の援助であることから、それらを最も安価でクラブが購入し現物で支給することになった。また、父兄会費が支払えない為に登校できなくなる児童もいることから、父兄会費は仕方ないので、学校へ現金支給することとした。
5. 受け渡しの日取りは、長期休日に突入する前までに、各県の文部省出先機関、校長、教師父兄立会いのもと、ロータリークラブバリタマンの代表が各学校へ出かけて行って譲渡することにした。つまり、6月15日、16日、17日、18日の4日間で全てを回り終了した。
6. 以下はその詳細である。
  - (a) 6月15日 ブレレン県第4小学校訪問 : この学校は全体的に大変貧しい地域の学校なので、204名の児童に、合計1200万ルピア相当の贈与を行った。

- (b) 6月16日 デンパサル市第17小学校訪問 : 町の中にある学校ではあるが、  
貧しい環境の児童の多い学校で、80名の児童に合計1200万ルピア相当の贈与を行っ  
た。奨学金を受ける児童の父兄を全部呼んであった。
- (c) 6月17日 ギアニャール県第1小学校訪問 : 学校の名前の通り、この地区で  
初めて出来た古い学校であるが、町の発展と共に取り残されて忘れられかけて  
いる貧しい学校。80名の児童に合計1200万ルピア相当の贈与を行った。ここでも父  
兄全員を呼んであった。
- (c) 6月18日 カランアサム県第1&第2小学校訪問 : 山村の学校で、小人数の  
為 2つの学校を選び、合同で譲渡式を行った。1校につき15名ずつ、各600万ルピ  
ア、2校で合計1200万ルピア相当の贈与を行った。私たちの訪問に際し、学芸会よ  
ろしく2校の生徒さん達が踊りや歌を披露してくれた。父兄の参加はなかった。

当日はどの学校へも、教科書、制服、靴、現金などを持参し、公的機関(文部省の各県)の代表の立会いのもと、校長先生、教師の方々、父兄のみなさん、数名のロータリークラブのメンバーと会長の見守る前で、現物や現金を手渡した後 書面に領収の記しとしての署名をお願いして、皆で記念写真を撮りました。書面中、3人の名前がありますが、左上は校長先生、右上は公的機関のお役人の方、それにRCバリタマン現会長のInnoSusantiのサインです。(注: NIPという文字がありそのあとに、数字がありますが、それは公務員番号という意味で、全国の全公務員中同じ番号は一つもありません) 感謝状の書式は学校により各々異なりますが、意味は殆ど同じで、感謝の意が表明されています。(インドネシア語で申し訳ありません)

又、この好機会に、私達は堺清陵ロータリークラブとバリタマンロータリークラブの両方の名前が入った横断幕を準備して4校に持ち歩き写真を撮る前にニラワティ元会長からロータリークラブとは何か、私達と堺清陵との関係、どんな奉仕活動をしているかを簡単に説明し、地域社会の方々にロータリーに対する理解を深めてもらう活動を行いました。

このプロジェクト担当元会長 Nilawati から、6月21日(火)の例会で 以上の報告がなされ、メンバー全員に承認されました。私 万亀子イスカンダールは、15日は同行できませんでしたが、他は全部一緒に行ってまいりました。写真と共に、各校からの感謝状(奨学生名簿付き)、及びクラブ会長からの感謝状をお送りしますので、お納め下さい。

万亀子 イスカンダール  
RC Bali Taman 元会長、D3400



JUNE 25, 2005